

ピークススクランブル (P170)



バックパックのショルダーベルトに干渉しないよう工夫されたベンチレーション。同ブランドのシェルと同じ位置にあるため、重ね着しても効率的に換気が可能

行動中に、ジップの金属部分が顔に当たって不快な思いをすることも少ない。ドラウトセンサーにはチンガードが備え付けられているため、当たりがやわらかだ

右胸にポケットを配置。ファイントラックのミッドシェル「ニューモラップ」と左右逆の位置にすることで、膨らみを分散させる設計

ドラウトセンサージャケット

¥13,020  
サイズ：S、M、L、XL  
カラー：ナイトブルー、スプリンググリーン、ブラック、オキサイドレッド(右から)

重量：280g  
この季節のトレッキングはもちろんのこと。クライミング、スキー、パドルスポーツなど、激しい体の動きに加え、保温性も求められるアクティビティに適した中間保温着



FINE TRACK 13

これまでの欠点を解消

汗にも強い中間保温着「ドラウトセンサー」



これまで、中間保温着として使用されてきたフリースは、休憩中は「暖かい」ウエアであっても、汗をかく行動中は「暑い」ウエアになりがちだった。起毛によって熱を逃さない構造をとっているフリースは吸汗蒸散性に乏しく、汗処理が効率よく行なわれないためだ。どんなに透乾性の高いベースレイヤー、透湿素材のシェルを着せていても、ミッドレイヤーが汗を吸収し、拡散させなければ効果を発揮することができない。

このファイントラックの新商品「ドラウトセンサー」は、複数の異なるポリエステル糸を使い立体型の3層で生地を構成することで、ミッドレイヤーに吸汗蒸散性を持たせることに成功している。オリジナルの3層構造生地により実現したこの吸汗性能。一般的なフリースと比較すると、その蒸散性は約2・5倍「吸い上げる」という言葉がふさわしいほどに吸収し、長時間の発汗にもしっかりと対応する。また、ドライタッチな吸汗層を備えているため、点接触により汗で濡れた状態でも、濡れを感じにくく冷えを抑えてくれる。

ドラウトセンサージップネック

¥12,075  
サイズ：S、M、L、XL  
カラー：ウルトラマリン、イエローグリーン、ブラック、オキサイドレッド

重量：253g  
ドラウトセンサーのジップネックタイプ。ポケット、大型ベンチレーションなどの機能はジャケットと同様。1着あれば1年通して使うことができるのもドラウトセンサーの強みだ

ドラウトセンサーパンツ

¥9,345  
サイズ：S、M、L、XL  
カラー：ブラック

重量：188g  
山行中、もっとも船使され、つねに動き続ける足。このパンツならば冷えから守ることはもちろんのこと。軽量、そしてストレッチ性にも優れているため、足の動きを妨げることがない

汗をかくと気になるのはやはりニオイ。ドラウトセンサーは生地に抗菌防臭加工を施してあるため、とくに発汗の多いアクティビティや数日にわたる山行でも、嫌なニオイを抑えてくれる。とはいえ、ミッドレイヤーの第一義である保温性が損なわれてはならない。かさ高いパイル構造と綿密な表面生地が暖かい空気を閉じ込め、軽量ながら優れた保温性を確保。起毛がないためにへたりにくく、その性能を長く維持する。一方、内面にはパイル地を使用しているため、着心地は快適だ。また、生地にはストレッチ性をもたせ、立体デザインが施してあるために、クライミングやスキーなどの激しい動きにも、しっかりと体にフィットしたまま追従する。

これから迎える本格的な冬山シーズン。冬もハードなアクティビティを楽しむ人にとって最適なミッドレイヤーといえる。